

第2学年 国語科学習指導案

児童 男子15名 女子17名 計32名
指導者 相馬節子

- 1 単元名 しょうかい文を書こう
教材名 友だちのこと、知りたいな（光村下）

2 単元について

(1) 児童について

児童は、2年生になってから国語の「今週のニュース」や「かんさつ名人になろう」、生活科では、まちたんけんやミニトマトの観察などの学習で自分が経験したことや思ったことなどを文章に表現する活動を行ってきた。また、国語の「お話のさくしゃになろう」では、はじめ・中・おわりの構成を考えて文章を書く活動も行ってきたので、「書くこと」に対して意欲的に取り組む児童が増えてきている。だがその一方、話し言葉のまま文章にしてしまったり、書く順序を考えずに後から思い出したことを付け加えて書いたりしてしまう児童もいる。そこで本単元を通して、友達とのやり取りの全てを文章にするのではなく、どの部分をどのように紹介するかを考えさせ、紹介したい事柄の優先順位を決めて書くことを意識させたい。

朝活動では、小学生新聞の記事をスクラップに貼り、「いつ、どこで、だれが、どうした。」の観点に沿って調べ、記事についての感想の交流を設ける活動を行っている。また、校外学習のことをはがき新聞にまとめる活動も行なった。しかし、新聞に触れる機会は増えているものの、情報を得るために新聞を活用している児童はほとんどおらず、日常の話題も身近なことが多い。話題を広げるためにも、今後も朝活動や授業を通して、新聞活用の機会を図っていきたい。

(2) 教材について

この教材は、言語活動例（エ）「紹介したいことをメモにまとめたり、文章に書いたりすること」を通して、指導事項（イ）「自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること」、（ウ）「語と語や文と文の続き方を注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと」、（オ）「書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うこと。」を定着させていく必要がある。

教材文の二人が話し合っている様子は、この教材のゴールをイメージさせている。次に、「これからの学習の進め方」を示し、児童に学習の見通しをもたせるようにしている。

次に紹介文の例が挙げられており、構成文がはっきりとしているため、この文章を読み取ることによって自分の紹介文の見通しを立てることができる。会話文の書き方や伝聞・理由の表現法なども含まれており、この文章がよい手本となり、一人一人の書こうという意欲につなげることができると考えられる。また、紹介文の欄外には、題の付け方、伝聞の書き方、つなぎの言葉、思ったことなど、文章を書く際に工夫したことなど、文章を書く際に考えさせたい観点を示している。

ここでの活動は「書くこと」ではあるが、学習を進めていく中で、「話す・聞く」「読む」という活動が随所に入っている。「話す・聞く」では、しっかりと友達と対話する姿勢が大切である。対話の基本はここで言う「一対一」からなので、しっかりと相手に対応させていきたい。

また、「読む」ことが「書く」ための大切な活動であり。教科書に提示された紹介文と新聞記事の人物紹介欄を丁寧に扱うことが書く活動の見通しにつながっていくと考えられる。

(3) 指導にあたって

この単元のゴールとして、「紹介文を集めて、巨大学級新聞を作ろう」という課題を設定する。これにより、子ども達は、紹介文を書いたり新聞を活用したりすることに、興味関心をもって学習を進めていくことができると考える。

事前に児童一人一人にアンケートを取り、それぞれの児童の得意なことやできるようになったことなどを調査しておき、第一次で「これはだれでしょうクイズ」を行い、友達のことをもっと知りたいという意識をもたせる。

第二次では紹介する相手のことをもっと知りたいと思っても、何を質問してよいか分からない児童もいると考えられるので、教科書の例文だけではなく新聞で紹介されている人物紹介欄を資料として活用し、友達のよさを見付けたり、思い出したりする手だての一つとしたい。

また、次時以降の活動でも新聞を活用していく。人物紹介欄では、その人の活躍していることについて、その様子や気持ちなど多様な内容で書かれている。児童が質問の内容を考える時は、一回だけ尋ねるのではなく、一つ的话题をもっと詳しく尋ねたり、新しい話題について尋ねたりして、友達の紹介に必要な情報を集めさせたい。さらに、集めた情報を文章にする際は、聞いたことは「～だそうです。」、理由は「～からです。」と書き表すことや、相手が話したことにはかぎ（「」）をつけることを意識して書けるように新聞記事を資料として提示する。

紹介文の構成では、個人新聞の作成で学んできたトップ記事や二番手の記事を想起させ、一番紹介したいこと、二番目に紹介したいこと、感想という順番を意識させて書かせたい。

3 単元の目標と単元の評価規準

観 点	単 元 の 目 標	単 元 の 評 価 規 準
関心・意欲・態度	○友達のよいところを意欲的に探し書くことができる。	○友達のよいところを意欲的に探し書こうとしている。
書く能力	○友達のよいところを見付け、構成を考えて、友達を紹介する文章を書くことができる。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文を書くことができる。 ○書いたものを読み合い、よいところを見付けて感想を伝え合うことができる。	○友達のよいところを見付け、構成を考えて、友達を紹介する文章を書いている。(イ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文を書いている。(ウ) ○書いたものを読み合い、よいところを見付けて感想を伝え合っている。(オ)
言語についての知識・理解・技能	○句読点やかぎ（「」）の使い方を理解し、正しく使うことができる。	○句読点やかぎ（「」）の使い方を理解し、正しく使っている。 (イ (オ))

4 単元の指導計画と評価規準（全8時間）

次	時間	学 習 活 動	観 点		
			関心・意欲・態度	書くこと	言語についての知識 ・理解・技能
第一 次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「これはだれでしょうクイズ」をする。 ・「友だちのこと，知りたいな」の題名を考えて，学習計画を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のよいところに関心をもち，意欲的に探そうとしている。（発表） ・紹介する友達について仲良くなりたいという気持ちをもち，これからの活動の手順を理解している。（記述） 		
	2 （授業1）	<ul style="list-style-type: none"> ・「友だちのよいところを見つけましょう」を読み，友達を紹介するための観点を整理する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・友達のよさを見つける観点を整理し，思い出して書いている。（記述） 	
第二 次	3 （授業2）	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介する友達のよいところを観点に沿って思い出し，取材メモに書き込んだり，もっと知りたいことを考えて，友達に質問したりする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・友達のよさを知るために，詳しく尋ねる方法を理解し，尋ねたことをメモしている。 ・質問やその答えなど大事なことを落とさずにメモしている。（記述） 	
	4			<ul style="list-style-type: none"> ・友達のよさを知るために，詳しく尋ねる方法を理解し，尋ねたことをメモしている。（記述） 	
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文を読み，紹介文の構成を分析する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・友達のよいところがみんなに伝わるような文章の書き方を理解している。（記述） 	
	6 ・ 7	<ul style="list-style-type: none"> ・取材メモを整理し，友達のよいところを新聞にまとめる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・語と語や文と文との続き方に注意しながら，観点にあった紹介文を書いている。（記述） 	<ul style="list-style-type: none"> ・句読点やかぎ（「」）を正しく使っている。（記述）
第三 次	8	<ul style="list-style-type: none"> ・学級新聞を読み合い，初めて分かった友達のよいところや書いてもらってうれしかったことを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の書いた紹介文に関心をもち，感想を伝えようとしている。（発表） 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の書いた紹介文の書き方や内容について感想をもっている。（記述） 	

(1) 目標

友達のよさを見つける観点を整理し、取材メモに書くことができる。(書く能力)

(2) 評価の観点と具体的評価規準

評価規準	十分満足	概ね満足	指導の手立て
書く能力	観点到に沿って、紹介する友達のよさを二つ以上思い出して書いている。	観点到に沿って、紹介する友達のよさを思い出して書いている。	事前アンケート結果から友達のがんばっていたことを助言し、考えさせる。

(3) 展開

段階	学習活動 発問及び指示 (○) 児童の反応 (・)	評価・留意事項 評価 (※) 留意事項 (・)
つかむ 5分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題をつかむ。 友だちのよいところを見つけるには、どんなことに気が付いたらよいか考えよう。	・学習のめあてや学習計画を確認する。
ふか め る 35分	3 モデル文から、先生達のよいところを見つける。 ○ 先生のよいところはどんなことですか。 ・K先生は、誕生日に「おめでとう」と言ってくれた。 ・M先生は、いつも机の上をきれいに整理整頓していた。 ・O先生は、いつもかぼちゃに水やりをしていた。 4 新聞記事の人物紹介欄から、その人物のよいところを考える。 ○ この人はどのようなことをしている人ですか。 ・サッカーをやっている人 ・目が見えなくてもピアノをやっている人 ○ この人は、どのようなことが嬉しかったのですか。 ・～言われて嬉しかった。 ・～してもらって感謝している。 5 友達のよいところを見つける観点を確認する。 ○ 今、出されたよいところは、それぞれどのようなことですか。 ・言ってもらって嬉しかったこと。 ・いつも頑張っていること。	・モデル文から、友達のよいところの要素を見付ける。 ・新聞記事の人物紹介欄を示し、友達のよいところを見付ける参考になるようにする。 ・発言に合わせて、よいところを見付ける四つの観点「言ったこと」「いつもしていること」「見かけたこと」「してくれたこと」をはっきりさせる。
	・よいことをしていたこと。 ・友達にしてもらって嬉しかったこと。	

<p>深 め る 35 分</p>	<p>6 友達のよいところをメモする。 ○ A君のよいところを思い出してみましょう。 ・A君は、机を運んでくれた。 ・A君は、走るのがとても速い。</p> <p>7 紹介する友達のよいところを思い出し、ワークシートに書き込む。 ○ 友達のよいところをたくさん思い出して、ワークシートに書きましょう。</p>	<p>・学級内児童を例に挙げ、観点に合わせてよさを考え、メモをする。 ・単語ではなく、「何を・どうした」の形でメモさせる。</p> <p>・友達のよいところを書けない児童には、友達の係やがんばっていたことをヒントとして助言する。 ※友達のよさを見付ける観点を整理し、思い出して書くことができる。 (ワークシート)</p>
<p>ま と め る 5 分</p>	<p>8 学習のまとめをする。</p> <div data-bbox="256 853 903 994" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>友だちのよいところは、「言ったこと」「していること」「見かけたこと」「してくれたこと」に気をつけると見つけることができる。</p> </div> <p>9 学習を振り返り、感想を発表する。</p> <p>10 次時の学習を知る。</p>	<p>・よいところを見付ける観点を穴埋めで記入させる。</p> <p>・友達のよいところを考えて書くことができたか振り返らせる。</p> <p>・次時はさらに詳しく質問する内容を考えることを確認する。</p>

(4) 板書計画

友だちのよいところは、「言ったこと」「していること」「見かけたこと」「してくれたこと」に気をつけると見つけることができる。

A君
何を どうした。

- ・つくえをはこんでくれた。
- ・はしるのがとてもはやい。

水やり

- ・つくえの上がきれい
- ・手つだってくれた

友だちのこと、知りたいな

友だちのよいところを見つけるには、どんなことに気をつけたらよいか考えよう。

見かけたこと

していること

言ったこと

していること

- ・おめでとう
- ・だいじょうぶ
- ・がんばれ

- ・サッカー
- ・ピアノ